



コロナ禍で人と関わる機会が減ったことから、身近な場所で気軽に交流できる地域の居場所のニーズが高まっています。

今後、持続可能な社会を実現するためには、

世代や分野を超えた地域のつながりをつくる必要性があります。

今回の特集では、「食」を通して地域のつながりをつくる「全世代型サロン」について紹介します。

全世代型サロンとは

「食」を通して、子どもから高齢者まで世代を超えた地域住民同士のつながりを築き、交流の場を提供するために地域に設置されるサロン(居場所)のことです。現在、市内に4カ所開設しています。

食事の提供

無料または低価格で、栄養バランスの取れた食事を提供しています。

月1回開催

月1回以上、多くの人が集まりやすい土・日曜日に開催しています。

遊びの企画

レクリエーションや学習支援などを地域団体と連携して行っています。

公民館でも開催

公民館で開催しているところもあります。駐車場があるほか、備品もそろっています。

市では、「第2次大府市地域福祉計画」の中で、全世代型サロンの推進を重点事業に掲げています。令和12年度までに市内10カ所に設置することを目標にしています。

全世代型サロンのメリット



MERIT 1

誰でも、誰とでも参加できる

子どもや高齢者、障がいのある方、親子や友達同士、ご近所さんなど、誰でも、誰とでも参加できます。

MERIT 2

地域でのつながりができる

食事後のレクリエーションなどで、他の参加者と交流することができ、地域に顔見知りが増えます。

MERIT 3

おいしい食事が低価格で食べられる

「皆さんにおいしいものを食べてほしい」とこだわったメニューで、季節の野菜をたくさん使った栄養バランスの取れた食事が食べられます。



ZENSEDAIGATA SALON

子どもから高齢者までが集う新しい居場所「全世代型サロン」

食を通じた多世代のつながりを。

地域福祉課
☎(45)6228



ZENSEDAIGATA SALON

ZENSEDAIGATA SALON

02

みどり

01

だんらん



DATA



日時 毎月第3(土)
11:00~14:00

場所 江端町3-85
(みどり公園の近く)

申込 必要

料金 大人 300円
子ども 無料



☎ (44)3232



昔のあそびを学びてもらえりし、
「皆んなが」とても親切で”
毎月の楽しみにしています。



みどり代表

久保田 久代さん



20年以上、高齢者の居場所づくりをやってきました。今私たちにやれることはなんだろうと考えたときに、お年寄りの知恵と心を子どもたちに教えたいと思い、全世代型サロンを始めました。

レクリエーションでは、お手玉や百人一首など、私たちが小さい頃からやってきている遊びを行っています。子どもたちと一緒に遊ぶのはとても楽しいです。食事は、季節の野菜をたくさん使った家庭料理を提供しています。ここは、みんなの家。いつ来てもいつ帰っても大丈夫なので、ぜひ遊びに来てください。帰る時は、「またね」とあいさつしています。

INTERVIEW

INTERVIEW

だんらん代表

河越 かおりさん



地元を離れて子育てしていたため、地域とのつながりがなく、心細く感じていました。また、デイサービスで働く中で、誰も話さず一人で食事をする高齢者が多いことを知りました。これらの経験から、全世代型サロンを開設しようと思いました。運営は大変ですが、毎回来てくれる方と顔なじみの関係になったり、「楽しかった」「おいしかった」と言われたりするとすごくうれしいです。食事は全て手作りにこだわっていて、野菜多めのバランスの良いメニューにしています。一人でも多くの方におながいばいにおいしい食事を食べてほしいです。申し込みは不要なので、ぜひふらっと立ち寄って、安らぎに来てください。

DATA



日時 毎月第1(土)
11:00~14:00

場所 森岡町1-30
(ネットワーク大府キッズ棟)

申込 不要(なくなり次第終了)

料金 大人 300円
子ども 100円

☎ (44)1977



手づくりのご飯は、バランスが良くおいしいです。
普段の食事とは並ばないご飯が食べられるの”
ととても助かっています。



ZENSEDAIGATA SALON

ZENSEDAIGATA SALON

04

CURIOUS



03 まなべーす
サロン



DATA



日時 毎月第4(日)
10:00~15:00

場所 神田町3-115
(神田公民館)

申込 必要(先着20人)

料金 大人 300円
子ども 無料



☎ 070(4311)3064

CURIOUS代表

松谷 麻美子さん



メンバーみんな共働きのので、休日に地域の皆さんと集まってつながれる場所をつくりたいと思い、開設しました。主なメンバーは3人なので、毎月の運営は大変ですが、地域の人たちに支えられながら運営しています。

レクリエーションでは、市内で活動する市民団体とコラボして、毎月楽しい企画を用意しています。公民館で開催しているので、さまざまな世代の人に気軽に来ていただけますし、食器や調理場が完備されているので運営としても助かります。私は大府出身ではないのですが、こうして地域でつながりを持つことができました。ぜひ皆さんも一緒に楽しい時間を共有しませんか。

INTERVIEW

INTERVIEW

まなべーすサロン代表

田中 優二さん



児童福祉・高齢者福祉の観点から、地域の皆さんのために何かできることはないかと思い、全世代型サロンを始めました。日本福祉大学の学生にもスタッフとして働いてもらいながら運営しています。

当サロンでは、食事をみんなで一緒に作ります。子どもたちにも作れるよう工程を工夫しながらメニューを考えています。なかなか地域の人たちに来てもらえないのが課題ですが、アットホームな場所なので気軽に足を運んでいただきたいです。私の小さい頃は、近所の高齢者にいろいろな遊びを教えてもらいました。ぜひ地域の子もたちに昔の遊びを教えていただきたいと思います。

DATA



日時 毎月第2・4(土)
11:00~14:00

場所 桃山町5-200
(ザ・リレーションビル2階)

申込 必要(先着15人)

料金 大人 300円
子ども 100円



☎ (47)4165

「みんなで食事をしている高年齢者にぜひ来てほしい。月に1回、みんなでおしゃべりしてはがら食事を楽しみたい。」



「みんなと一緒に作るのって、あんなに楽しいです。」



サロンの運営者を募集しています



市には、「全世代型サロン」「常設サロン」「ふれあいサロン」の3種類のサロンがあり、開催の頻度や実施内容もさまざまですが、それぞれ特色のある運営がされており、地域住民同士の交流を深めることができる貴重な場所であることは共通しています。皆さんの周りにも「近くにサロンがあったらな」と考えている人がいるかもしれません。サロンは、誰でも気軽に始めることができます。新たに開設する場合は、市からの財政的支援(補助制度)のほか、活動内容や活動場所、地域への周知方法などについても、市と社会福祉協議会が全面的にサポートします。少しでも興味・関心のある方は、地域福祉課または社会福祉協議会へお問い合わせください。

SUPPORT

**全世代型サロン
初期活動費・運営費の補助制度**

▶対象 3人以上の市民で組織する団体

▶補助対象経費
①備品購入費などの新規開設に要する費用
②食糧費などの運営に要する費用

▶補助額
①補助対象経費の3分の2(上限20万円)
②補助対象経費の実支出額の合計から参加費などを控除した額(1回上限1万円)

▶申込 申請書に必要事項を記入の上、直接申込先へ。

※申請書は、申込先・市ウェブサイトにて用意しています。常設サロンが全世代型サロンを開催する場合の補助内容は異なります。他にも常設サロン・ふれあいサロンの補助制度もあります。

問・申込先/地域福祉課 ☎(45)6228

SUPPORT

**つながりや生きがい サロンでつくりませんか
サロンサポーター応援講座**

サロン活動を行う方から、サロンの魅力や思いを聞き、サロン開設時に役立つ簡単なレクリエーションを学びます。

▶日時 8/22・29(火)
10:00～12:00(全2回)

▶場所 スピカ

▶定員 20人(先着順)

▶料金 無料

▶申込 8/10(木)までに電話またはメールで申込先へ。

問・申込先/社会福祉協議会 ☎(48)1805
✉obu-fuku@ma.medias.ne.jp

SALON 01 **だんらん**

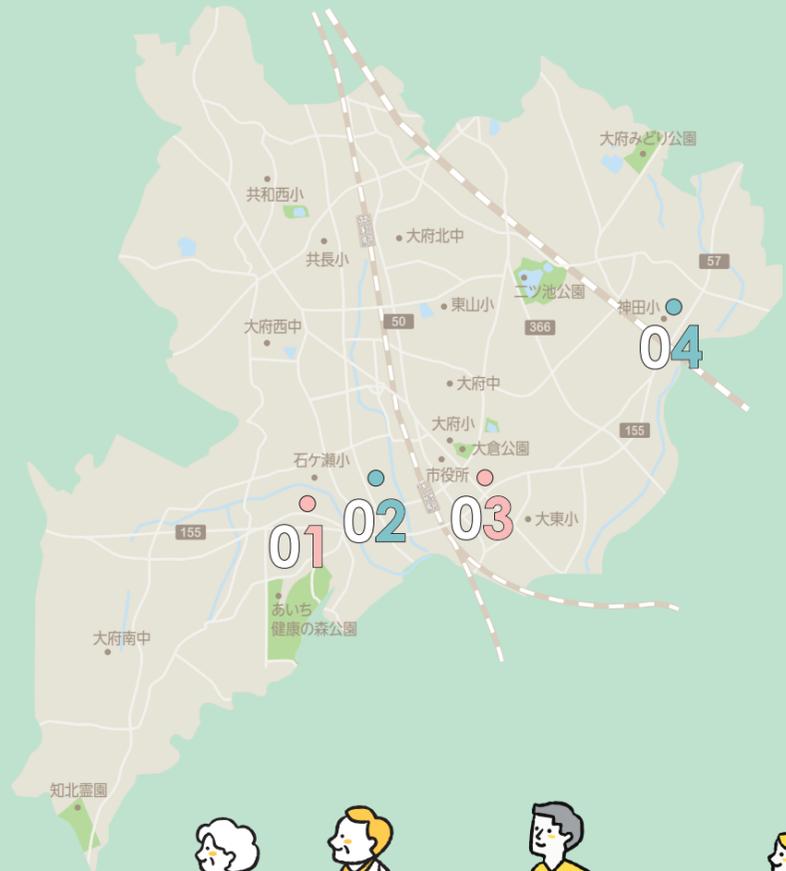
SALON 02 **みどり**

SALON 03 **まなべすサロン**

SALON 04 **CURIOUS**

全世代型サロンマップ

ぜひ一度、お近くの全世代型サロンに足を運んでみてください。



詳細はこちら



ふれあいサロン

- 対象 地域の高齢者
- 開催回数 月1回以上
- 市内開設数 129カ所(令和5年3月31日時点)
- 食事提供 なし
- 主な内容 体操・おしゃべり・手芸・脳トレ・囲碁・マージャン・卓球など
会話や活動を通して、健康づくり・生きがいづくり・仲間づくりを楽しんでいます。

常設サロン

- 対象 地域の高齢者
- 開催回数 週4回以上かつ1回4時間以上
- 市内開設数 9カ所(令和5年3月31日時点)
- 食事提供 一部あり
- 主な内容 習字・生け花・ヨガなど
趣味の活動や食事・お茶を飲みながら、楽しいひとときを過ごします。

全世代型サロンは、地域みんながつながる新しい居場所

今回の特集で、「全世代型サロン」という言葉を初めて聞いた方の中には、「子ども食堂と何が違うの?」と思った方もいるかもしれません。確かに、無料または低価格で食事の提供などを行う内容はよく似ています。このサロンの目的は、食を通じた経済的支援ではなく、地域住民同士がつながり、支え合う仕組みをつくることなので、子どもから高齢者まで、誰でも参加できます。以前、サロンの代表者から、「『全世代型サロン』という言葉が浸透していないので、地域で懐疑的な目で見られることがある」との意見をいただきました。今回の特集をきっかけに、多くの方に「全世代型サロン」を知ってもらうことで、参加したり、運営したりする方が増え、にぎやかな交流の場が市内全域に広がることを願っています。市では、サロン立ち上げに係る補助制度や伴走的支援を行っていますので、興味のある方はぜひ一度ご相談ください。

地域福祉課 山本 真嗣

